

## 鞍手町庁舎等建設設計等業務委託プロポーザル 技術提案書等評価要領

【評価3】鞍手町庁舎等建設設計等業務委託プロポーザル技術提案書等評価要領（以下「本評価要領」という。）は、本プロポーザルにおける技術提案書等の評価について記載したものであり、鞍手町庁舎等建設設計候補者等選考委員会（以下「選考委員会」という。）において、本評価要領に基づき評価を行い、最優秀者及び優秀者を各1名選考するものである。

### 1 評価方法

評価方法は、選考委員会委員が評価項目ごとに評価を行い、各委員の評価点の平均を技術提案書等の提案者の評価点とし、最高得点を最優秀者に、次点を優秀者に決定する。

### 2 評価項目と評価点の配点

評価点は、100点満点とし、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとする。なお、評価項目ごとに算出した評価点は、小数点第一位を四捨五入する。

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| (1) 業務の実施方針      | 10点                    |
| (2) 課題に対する技術提案   | 50点（15点×2テーマ+10点×2テーマ） |
| (3) 設計工程計画       | 5点                     |
| (4) 参考見積書        | 5点                     |
| (5) 管理技術者の詳細業務実績 | 10点                    |
| (6) ヒアリング内容      | 20点                    |

### 3 評価項目ごとの評価判断基準と各委員の評価

#### (1) 業務の実施方針

業務の実施方針の評点は20点満点とし、次の判断基準の項目ごとに5段階評価で評点を算出し、評点の合計である満点20点で除した値に、配点10点を乗じて業務の実施方針の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
業務実施方針の妥当性、実現性、的確性、独創性	①業務推進組織と役割の妥当性、実現性 ②実施方針の実現性、的確性 ③合意形成等の工夫の実現性、的確性 ④コンセプトや配慮事項の独創性	極めて高い	5
		高い	4
		普通	3
		低い	2
		極めて低い	1

## (2) 課題に対する技術提案

課題に対する技術提案の評価点は、4つのテーマごとに評価点を算出する。

評点は、1テーマ当たり20点満点とし、次の判断基準の項目ごとに5段階評価で評点を算出する。各テーマへの配点は、テーマ1・2は15点、テーマ3・4は10点とし、テーマごとの評点を満点20点で除した値に、配点を乗じてそれぞれのテーマに対する技術提案の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
テーマの理解度 テーマに対する技術提案の 的確性、独創性、実現性	設定したテーマごとの技術提案に対して ①テーマを理解しているか（理解度） ②テーマと整合がとれているか（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（独創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）	極めて高い	5
		高い	4
		普通	3
		低い	2
		極めて低い	1

## ■技術提案における課題（テーマ）

## 【テーマ1】 基本計画改訂版の実現について

基本計画改訂版に定める新庁舎の機能を実現するための課題と解決方法について提案をすること。

## 【テーマ2】 敷地条件等を活かす庁舎等建設について

本事業は造成工事を伴う計画となっており中央公民館を始めとする周辺施設、建設中の病院施設、今回計画する外構などとの連携を十分に考慮した設計が必要となる。

さらに本事業は複合施設となることから利用者への配慮が必要になることなどを踏まえ、妥当性のある計画について提案をすること。

## 【テーマ3】 ZEBの実現について

本業務についてZEB化の実現に向けた提案をすること。特にZEBの計画及び検証については設計者にて実行するものとし、公共性に十分に配慮した品質及び仕様を実現すること。なお、ZEBの基準は Nearly ZEB を目標とする。

## 【テーマ4】 工期短縮及びコスト縮減について

実現可能な範囲で工期の短縮を図り、【特記2】特記仕様書の要求以上の内容でかつ建設コスト及び維持管理費を縮減できるような設計手法や工夫、目標値などについて提案をすること。

## (3) 設計工程計画

設計工程計画の評点は15点満点とし、次の判断基準の項目ごとに3段階評価で評点を算出し、評点の合計である満点15点で除した値に、配点5点を乗じて設計工程計画の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
設計工程計画の妥当性	①業務項目の設定は適切か ②業務項目の関係性、順序は適切か ③業務項目ごとの期間は適切か	高い	5
		普通	3
		低い	1

## (4) 参考見積書

参考見積書の評点は10点満点とし、次の判断基準の項目ごとに3段階評価で評点を算出し、評点の合計である満点10点で除した値に、配点5点を乗じて参考見積書の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
参考見積の妥当性	①業務項目の人日数は適切か ②取り組み姿勢が伺えるか	高い	5
		普通	3
		低い	1

## (5) 管理技術者の詳細業務実績

管理技術者の詳細業務実績の評点は15点満点とし、次の判断基準の項目ごとに3段階評価で評点を算出し、評点の合計である満点15点で除した値に、配点10点を乗じて管理技術者の詳細業務実績の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
業務実績の内容及び特徴	管理技術者の業務実績において ①設計上の課題とコンセプトは結び付けられているか ②コンセプトと作品は整合がとれているか ③新たな取組やアイデアがあるか	高い	5
		普通	3
		低い	1

## (6) ヒアリング内容

ヒアリング内容の評点は5点満点とし、次の判断基準に5段階評価で評点を算出し、評点の合計である満点5点で除した値に、配点20点を乗じてヒアリング内容の評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評点	
取り組み意欲	①プレゼンテーション内容、ヒアリングの対応で取り組み姿勢、意欲が伺えるか	極めて高い	5
		高い	4
		普通	3
		低い	2
		極めて低い	1

以上